

米国主催多国間共同訓練ヴァリアントシールド 2026 への参加について（口頭要請）

令和8年5月22日（金）に防衛省北関東防衛局から、「米国主催多国間共同訓練ヴァリアントシールド 2026 にて、令和8年6月22日（月）から24日（水）（予備日：25日（木））に松島基地及び岩国沖の洋上の米艦艇内において、それぞれ傷病者が発生したという想定のもと、各自衛隊及び米空軍のアセットを活用し、治療・後送を実施します。横田基地における訓練概要として、24日（水）、米空軍のC-130Jによって、松島基地から横田基地米空軍病院まで患者後送します」との情報提供がありました。

については次のとおり要請します。

- 騒音が増加することがないように周辺住民に十分配慮すること。
- 市街地上空での低空・旋回訓練は行わないこと。
- 基地の外に影響を及ぼさないよう安全対策の徹底を図ること。

令和8年5月26日

在日米軍横田基地第374空輸航空団司令官

リチャード F. マックエルハニー大佐 殿

横田基地周辺市町基地対策連絡会構成市町長

立川市長	酒井大史
昭島市長	臼井伸介
福生市長	加藤育男
武蔵村山市長	山崎泰大
羽村市長	橋本弘山
瑞穂町長	山崎 栄

幹事 立川市長 酒井大史